

# 蜂ヶ沢砂防学習公園



青き空  
緑なす木々  
そして水辺に憩う

長野県土木部  
犀川砂防事務所



龍門淵公園のアヤメ

## 「水郷明科」

北アルプ스에서生まれた清らかな水が安曇野の大地を豊かに潤し、幾つもの川となり、ここ明科町で一つに集まって犀川となります。また、明科町は県下一の湧水地帯であり、豊かな水郷の町として知られています。そこで明科町ではこの清らかな水を活かしたマスの養殖が盛んで、ニジマスの卵の供給量は日本一をほこり、内陸地では唯一の幼魚センターとして知られる長野県水産試験場があります。また、犀川の岸辺に湧き出す伏流水を利用した安曇野特産のわさび栽培も盛んです。このほかにもアヤメで名高い龍門淵公園など「水郷明科」にふさわしい美しく豊かな水のある景観が特徴です。



長野県土木部 さいがわ 犀川砂防事務所

〒399-7102 長野県東筑摩郡明科町大字中川手  
☎(0263) 62-3257

# 砂防の歴史 そして新たな一歩

## 蜂ヶ沢砂防学習公園

蜂ヶ沢砂防学習公園は砂防の意義、歴史、構造などを学習できる公園です。テーマに対応した5つのエリアを園路で結び、それぞれの施設を利用することによって、わかりやすく学習できるように工夫されています。

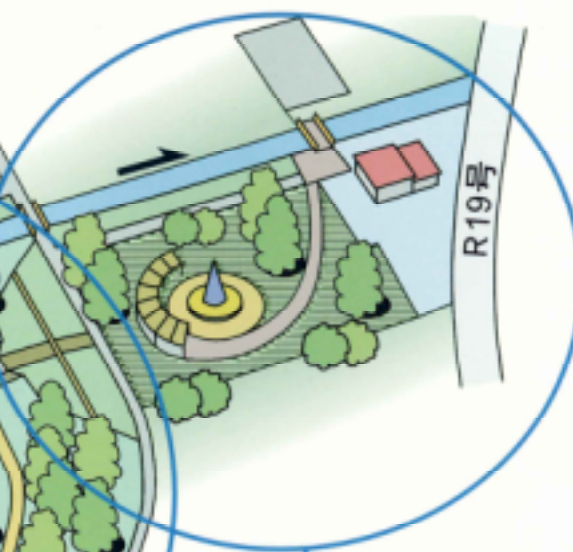
### 体験ゾーン

マレットゴルフ場内に砂防ダムのモデルがあります。これを見ながら各コースを最後まで廻ると砂防施設の今昔が体験できます。



### 修景ゾーン

斜面に花木を植え、四季折々に楽しめる花が心なましてくれるでしょう。ここは山の斜面が崩れないようにするための、山復工のモデルになっています。



### プレイゾーン

芝生の広場に自然にとけ込み、子供からお年寄りまで楽しめる自由空間です。

### 蜂ヶ沢の歴史

蜂ヶ沢は尾根直下部で大規模な崩落が発生し、大量の土砂が下流部に流れ込みました。そのため、最大で高さ20m、幅60m、総土砂量60万m<sup>3</sup>の県下でも類をみない天井川を形成しました。その蜂ヶ沢の砂防工事の歴史は古く、明治16年(1883年)がはじまりとされています。蜂ヶ沢は国道19号を横切り、昔から度重なる災害で河川と用水の維持に地元の人々は大変苦労してきました。しかし、昭和61年(1986年)からの河路切り下げ法による工事で天井川を解消し、河川敷の一部を有効に利用するため、砂防学習公園として整備が進められています。

※天井川…人々が普段生活している場所よりも高いところを流れている川。



### 保全ゾーン

旧水路跡が園路に有効利用され、平行する新設水路との比較により砂防事業の経過を実感できる場所です。園路の周辺は砂防林が生い茂り、散策を満喫できることでしょう。



### エントランスゾーン

砂防を表現するモニュメントがあり、国道からの入り口になります。整備された砂防事業と地域との融和を図った蜂ヶ沢砂防学習公園の入り口にふさわしい景観です。